

73

# 奈良井宿の家並み

▶長野県檜川村



奈良井宿は中山道六十九宿の一つで、江戸時代には奈良井千軒と言われ、大変栄えた宿場町である。江戸時代から明治初期にかけて建てられた、保存・保護の対象となっている家が二三〇戸もあり、古い家並みは街道に沿って約一キロメートルも続いている。町の地割りと背後の環境はともにその旧態を良くとどめており、文部省の重要伝統的建造物群に指定されている。

この伝統的建造物と環境を保存するため、檜川村では条例を制定するとともに、地域住民と一体となって、管理・修理・修景・復旧事業を行っている。

## データボード<sup>73</sup>

- ① 長野県檜川村奈良井
- ② 延長1.1km、面積17.6ha
- ⑤ 奈良井宿場祭り、奈良井宿漆器祭り